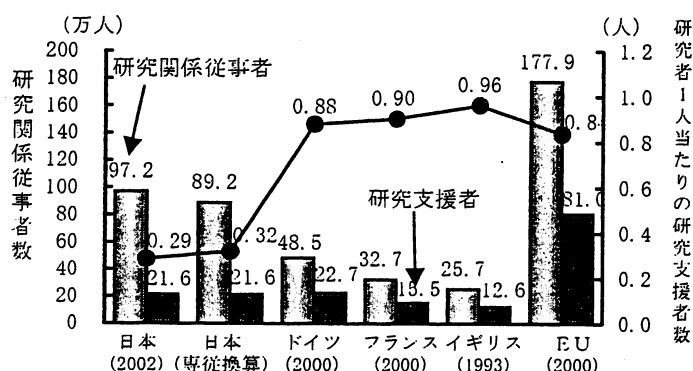


主要国における研究者1人当たりの研究支援者数

研究本務者のほか、研究支援者を含めた研究関係従事者の意味する範囲も国により様々であり、単純に比較することはできない。欧州主要国のみとの比較ではあるが、各国の研究関係従事者数を見ると、我が国は、97.2万人と最も多く、続いてドイツ、フランス、イギリスの順となっている。我が国は、研究者以外の研究関係従事者が相対的に少なく、研究者1人当たりの研究支援者数は、0.29人と欧州の3分の1程度の水準となっている。また、我が国の研究者数について専従換算した場合においても、研究関係従事者数は89.2万人、うち研究者が67.6万人となり、研究者1人当たりの研究支援者数は、0.32人と幾分増加するものの、依然低い値である。



- 注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学等を含めている。
 なお、日本については専従換算の研究者数を併せて表示している
 (2002年3月31日現在)。
 2. 日本の専従換算の値は総務省統計局データ。
 3. EUはOECDの推計値である。
 4. 研究支援者とは、研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者で、日本では研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。

- ・研究者…①教員(教授、助教授、講師、助手)、②医局員・その他の研究員、③大学院博士課程の在籍者、のいずれかに該当する者
- ・研究補助者…研究者の指示に従い資料収集、検査・測定、試験、記録、経常的観測作業などに従事して、研究者を補助する者
- ・技能者…研究者、研究補助者の指導・監督の下に、研究に付随する技術的サービスを行う者
- ・研究事務その他の関係者…上記以外の者で、研究官系業務のうち、庶務、会計、雑務に従事する者

資料：文部科学省「平成15年版 科学技術白書」